



# 輝水だより

(第155号)

平成22年12月発行

[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課  
宍道湖・中海対策推進室(電話:0852-22-6445)

平成22年11月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点



2. 調査結果

宍道湖湖心

過去5年同月と比べて...

COD (mg/l)	4.9	同値
過去5年同月平均	4.8	→
全窒素 (mg/l)	0.39	低値
過去5年同月平均	0.43	↘
全りん (mg/l)	0.11	最も高値
過去5年同月平均	0.04	↑

中海湖心

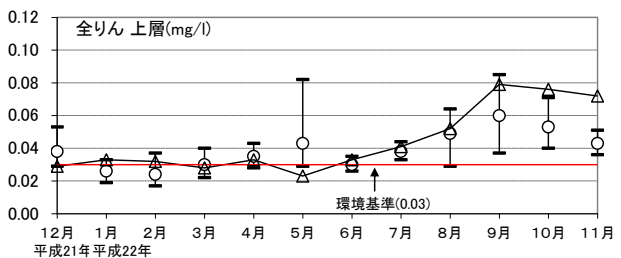
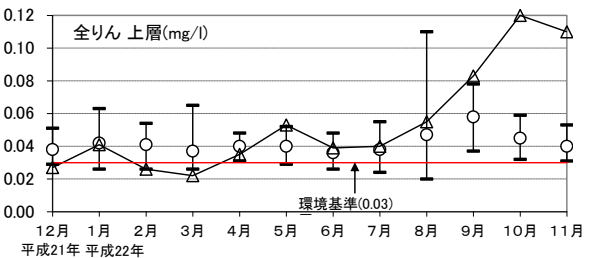
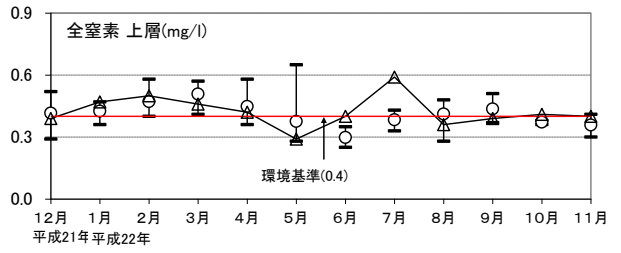
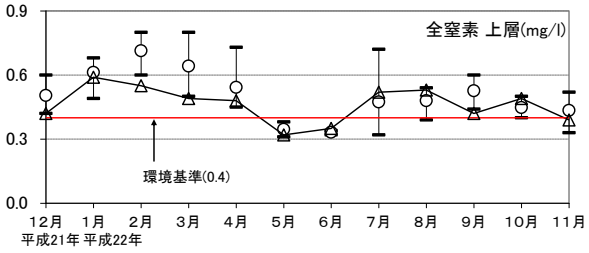
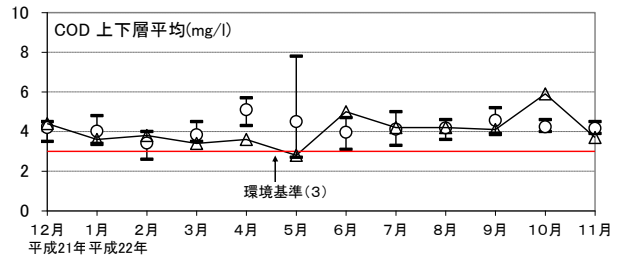
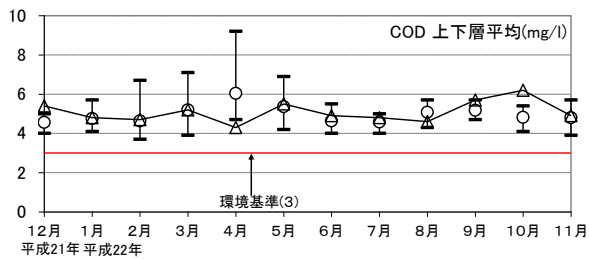
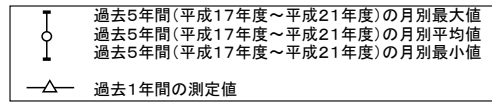
過去5年同月と比べて...

COD (mg/l)	3.7	最も低値
過去5年同月平均	4.2	↓
全窒素 (mg/l)	0.40	高値
過去5年同月平均	0.36	↗
全りん (mg/l)	0.072	最も高値
過去5年同月平均	0.043	↑

調査結果一覧表

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]平成21年度平均	
			9月	10月	11月	9月	10月	11月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	°C	—	31.1	22.5	15.5	30.6	23.1	16.3	—	—
pH(上層)	—	6.5~8.5	8.7	8.3	8.2	8.3	8.6	8.1	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	5.7	6.2	4.9	4.1	5.9	3.7	5.0	4.1
SS(上層)	mg/l	5以下	4	3	3	3	6	2	5	3
DO(上層)	mg/l	7.5以上	8.1	8.2	9.2	7.8	9.5	8.2	10	9.6
DO(下層)	mg/l	7.5以上	3.2	7.3	5.9	1.9	3.6	1.5	8.8	4.4
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.42	0.49	0.39	0.39	0.41	0.40	0.47	0.40
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.083	0.12	0.11	0.079	0.076	0.072	0.037	0.036
Cl(上層)	mg/l	—	1500	2400	2800	9800	10000	10000	2200	9000
Cl(下層)	mg/l	—	3900	3200	3000	15000	14000	14000	2700	15000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	13	9.2	13	6.1	5.7	10	18	10

宍道湖全域において、植物プランクトン(ミクロキスティス イクチオブラーベ)によるアオコが先月に引き続き確認されました。



宍道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(CI)は18800mg/lです。

輝水だよりはホームページでもご覧いただくことができます。(他にもいろいろな情報満載！)

[http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko\\_nakaumi/kisui\\_dayori/kisui\\_dayori\\_top.html](http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/kisui_dayori/kisui_dayori_top.html)